

安全データシート

作成日 2011年12月26日

改訂日 2016年 7月15日

1.製品及び会社情報

製 品 名	エラスメントEJ 遅延剤
会 社 名	オバナヤ・セメントックス株式会社
住 所	三重県いなべ市北勢町東村 1339
電 話 番 号	0594-72-6488
F A X 番 号	0594-72-6253
担 当 部 門	製造部 工場管理課
整 理 番 号	M2504

2.危険有害性の要約

GHS分類

引 火 性 液 体:	区分3
急性毒性	
経 口:	区分外
経 皮:	区分外
吸 入 (蒸 気):	区分外
皮膚腐食性/刺激性:	区分外
眼に対する重篤な損傷性/ 刺激性:	区分1
感作性	
呼 吸 器:	分類できない
皮 膚:	分類できない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発 がん 性:	分類できない
生 殖 毒 性:	区分1B
特定標的臓器/ 全身毒性(単回暴露):	区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)
特定標的臓器/ 全身毒性(反復暴露):	区分1(中枢神経系、視覚器)
吸引性呼吸器有害性:	分類できない
水生環境	
急 性 有 害 性:	区分3
慢 性 有 害 性:	区分3

GHSラベル要素



注 意 喚 起 語:	危険
危 険 有 害 性 情 報:	引火性の高い液体および蒸気 重篤な眼の損傷 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 臓器の障害(中枢神経系、視覚器、全身毒性) 長期または反復暴露により臓器の障害(中枢神経系、視覚器) 長期継続的影響により水生生物に有害

注 意 書 き: <<安全対策>>

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

保護手袋および保護眼鏡／保護マスクを着用すること。

ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないように、換気装置を使用し暴露を避けること。

静電気放電や火花による引火を防止すること。

取扱い後は、よく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

<<応急措置>>

皮膚等に付着した場合: 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受けること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は 外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

口をすすぐこと。

漏出した場合: 漏出物を回収すること。

火災の場合: 適切な消火方法をとること。

<<保管>>

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。

子供の手の届かない所に保管すること。

<<廃棄>>

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3.組成・成分情報

化学物質・混合物の区分: 混合物

成分及び含有量:

化学名又は一般名	含有量	CASNo.
ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム	70%	577-11-7
メタノール	10 ~ 20%	67-56-1
2-エチルヘキサノール	非公開	104-76-7
水、その他成分	非公開	非公開

4.応急措置

眼に入った場合: 直ちに大量の清浄な流水で15分以上充分洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
出来るだけ速く医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合: 付着物を布にて素早く拭き取る。汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。
中性石鹼を使用して十分に洗い落とす。

外観に変化が見られたり、かゆみ・痛み等がある場合は直ちに医師の手当てを受けること。

吸入した場合: 風通しの良い場所に移して安静にさせた後、直ちに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合: 誤って飲み込んだ場合には、水道水で口内をすすぎ、直ちに医師の手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。

5.火災時の措置

消火剤: 粉末消火剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤: 情報なし

特有の危険有害性: 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。

特有の消火方法: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は可能な限り風上から行なう。

消火を行なう者の保護: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
 燃焼ガスには、一酸化炭素等のほか、硫酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項/
 保護具及び緊急時措置: 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、ゴーグル等)を着用する。
 周囲を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
 付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
 風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項:
 封じ込め及び浄化の
 方法・機材: 流出した製品が河川や下水等へ排出され、環境に影響を起こさないように注意する。
 大量に流出した場合は、可能な限りせき止めし、ポンプ(防爆型)等で回収する。又は砂、ウエス等に吸着させドラム等に回収する。
 少量の場合は、砂、ウエス等に吸着させ、密閉容器に回収する。
 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意: 火気厳禁。
 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。局所排気装置等を設置して換気を良くする。
 休憩所には洗顔、洗眼、手洗い等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。
 労働安全衛生法、消防法等の関連法規に準拠して作業する。

保管上の注意: <<保管>>
 直射日光を避け、容器を密栓してから風通しの良い屋内に保管する。
 火気、熱源から遠ざけて保管する。
 <<容器>>
 情報なし。

8.暴露防止及び保護措置

設備対策: 取扱い設備は、防爆型を使用する。
 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。
 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
 タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。
 洗顔、洗眼、手洗い場等を設置すること。

管理濃度及び許容濃度:

化学名又は一般名	管理濃度	許容濃度
メタノール	200ppm	200ppm 日本産業衛生学会 260 mg/m ³ (皮) 200ppm ACGIH(TLV-TWA)250ppm(TLV-STEL)(皮)

保護具

眼の保護具: 保護眼鏡を使用する。
 手の保護具: 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
 呼吸器の保護具: 必要により有機ガス用防毒マスクを着用する。
 密閉された場所では送気マスクを着用する。
 スプレー作業を行なう場合には、適切な保護マスクを着用する。
 皮膚及び身体の保護具: 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。又、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
 静電気塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

9.物理的及び化学的性質

形	状:	液体
色	:	無色透明
臭い(臭いの閾値):		特異臭
融	点:	-39°C
引火	点:	28°C(セタ密閉式測定器)
粘	度:	81mPa・s(20°C)
比	重:	1.065(20°C)
蒸気	圧:	情報なし
爆発	範囲:	上限:情報なし、下限:情報なし
溶解	度:	水溶解性:乳濁分離、溶媒溶解性:エーテルに可溶

10.安定性・反応性

安定	性:	情報なし
反応	性:	引火性のガス・蒸気が発生することがある。 爆発性のガス・空気混合物を生成することがある。
混触危険物質:		情報なし
避けるべき条件:		情報なし

11.有害性情報

急性毒性		
経口:	区分4	ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム 参照(2)
経皮:		情報なし
吸入:		情報なし
皮膚腐食性/刺激性:	ウサギ、未希釈、4時間	半閉鎖貼付試験(OECD404):軽度の刺激性
眼に対する重篤な損傷・刺激性:	ウサギ、未希釈、OECD405:	強い刺激性が認められた。
呼吸器感作性:		情報なし
皮膚感作性:		情報なし
生殖細胞変異原性:	Ames試験(TA98、TA100):	陰性
発がん性:		情報なし
生殖毒性:	区分1B	メタノール 参照(1)
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露):	区分1	メタノール(中枢神経系、視覚器、全身毒性) 参照(1)
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露):	区分1	メタノール(中枢神経系、視覚器) 参照(1)
吸引性呼吸器有害性:		情報なし

12.環境影響情報

生態毒性:	ニジマス、96H、LC50:37mg/L
残留性/分解性:	CO ₂ 発生試験:100%(28日後)、Readily degradable
生体蓄積性:	情報なし
土壌中の移動性:	情報なし
環境基準:	情報なし
オゾン層への有害性:	情報なし
他の有害影響:	BOD5:0.37g/g

13.廃棄上の注意

- 残余廃棄物: 処理に関しては、十分な知識を有する専門家の指示に従う。
残余物の処理は、焼却炉で少量ずつ処理するか、都道府県知事の許可を受けた信頼できる廃棄物処理業者に、廃棄物の危険・有害性を充分告知の上、その処理を委託する。
- 汚染容器/包装物: 空容器は残油または気化した蒸気の引火、爆発の危険があるので密栓し、指定場所に保管する。残油の回収、蒸気開放等未処理の空容器の切断、溶接等の加工はしない。
廃棄する場合は内容物を完全に除去した後処分する。
- 焼却する場合: 引火性物質を含むので注意して行う。
-

14.輸送上の注意

- 輸送の特定の安全対策
及び条件: 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
- 国内規制: 消防法、労働安全衛生法に定められる運送方法に従うこと。
船舶安全法の定めるところに従うこと。
- 国際法規制: 航空輸送は IATA 及び海上輸送は IMDG の規則に従う。
- 国連番号: 1993
- 応急措置指針番号: 127
- 国連分類: クラス 3 (引火性液体、容器等級 II)
-

15.適用法令

- 消防法: 危険物別表第 1 第 4 類引火性液体、第 2 石油類水溶性液体(2000L)、危険等級 III
- 化審法: 特定化学物質・監視化学物質に該当しない
- 労働安全衛生法: ・名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条、施行令第 18 条)
メタノール
・名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条第 2 項、施行令第 18 条の 2 別表第 9)
メタノール(10~20%)
・第 2 種有機溶剤等
(施行令別表第 6 の 2、有機溶剤中毒予防規則第 1 条第 1 項第 4 号)
メタノール
・危険物・引火性の物(施行令別表第 1 第 4 号)
- 化学物質管理促進法
(PRTR 法): 該当しない
- 毒物及び劇物取締法: 該当しない
- 船舶安全法: 危規則第 2、3 条危険物告示別表第 1 引火性液体類
- 航空法: 施行規則第 194 条危険物告示別表第 1 引火性液体類
-

16.その他情報

本データシートは作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。
